

附属鍼灸センター 特集 附属施設紹介

附属鍼灸センターは、「現代医学と鍼灸学の有機的な融合教育による豊富な医学知識と高度な技術を身に着けた指導的人材を輩出する」ことを理念に大学内に併設された鍼灸治療専門の施設です。その歴史は、明治鍼灸短期大学(鍼灸学部)設立時(1978年)に遡ります。本センターは以下の3つの機能を有しています。隣接する附属病院の専門医と有機的に連携しながら、心身における病める患者さんの病苦の軽減、治療を目的とした「臨床施設」、専門外来の開設、鍼灸治療の有効性・適応と限界、新しい治療器具・環境・方法の開発を目的とした「研究施設」、卒前教育としての鍼灸学部学生、卒業後教育としての大学院生、研究生、研修生の教育を目的とした「教育施設」です。「臨床施設」としては、年間のべ11,937名(2012年度)の患者さんを治療しています。「研究施設」としては、研究成果を国内外の学会や雑誌に発表しています。「教育施設」としては、1、2年生は、実際の臨床現場を見学することにより、今、自分が学習している内容が将来、どのように必要かを意識させるための「早期臨床体験実習」、3年生は、臨床の基礎を学ぶ「入門実習」、そして、はり師・きゅう師となった4年生は、教員の指導下で患者を担当して診察、施術を行う「クリニカルクラークシップ(診療参加型実習)」にて実習を行っています。また、統合医療を視野にいたれた看護学部の実習教育も行われています。附属鍼灸センターは、上記の3つの機能をさらに発展させて指導的人材育成を目指しています。



新入生を対象とした「防災・安全講習会」を実施しました



災害発生時に学生さんの生命・健康が守れるよう、日々の防災意識を高めることを目的として安全講習会を実施しました。当日は、園部消防署から講師の先生を迎え、東日本大震災時の消防隊員の活動に関する講演がありました。避難訓練と点呼では時間がかり過ぎていると消防署員から注意がありましたが、訓練では普段あまり使用することのない、消火器体験は楽しく、煙体験は低い姿勢でタオルやハンカチなどを口に当てて実際の火災を想定しており、有意義で身になる講習会となりました。

9 > 10 > 11 > 12 > 1 > 2 > 3

- September
 - オープンキャンパス
 - ボルトガル研修2014
- October
 - たには祭(学園祭)
 - 京都学生祭典
 - 創立記念日(3日)
 - 時代祭
 - 全学研究ポスターワークショップ
- November
 - 学内フットサル大会
 - 国際学術交流講演会
 - 日本柔道整復接骨医学会学術大会
 - GUNT M学術大会
- December
 - 冬期休暇
 - 合同就職説明会
 - 全学横断的シンポジウム
- January
 - 冬期休暇
 - 学年末試験
- February
 - はり師・きゅう師国家試験
 - 看護師・保健師国家試験
- March
 - オープンキャンパス
 - 柔道整復師国家試験
 - 卒業式・卒業記念パーティー
 - 病院奨学金説明会



明治国際医療大学だより

Meiji University of Integrative Medicine News Letter Vol.9

大学情報誌



Entrance Ceremony 新入生の皆さん、入学おめでとうございます

4月3日(木)、桜満開の日吉キャンパスにて、平成26年度入学式が執り行われ、148名の新入生を本学の一員として迎えることができました。式典には多くの来賓の先生方にご臨席いただき、心強いエールをいただきました。また、新入生を代表して、鍼灸学部の田豆光君が宣誓を行い、学生生活が実りあるものになるよう努力することを力強く誓いました。新入生の皆さんには、これからの学生生活4年間で、勉学、友人関係、クラブ活動などを通じて新しい知識や世界を広め、充実した大学生活を送り、グローバルに活躍する医療人となられますことを心よりお祈りいたします。

新入生歓迎会を開催しました

4月5日(土)、新入生122名と在学中で3学部合同の新入生歓迎会が行われました。午前中は、今年度から導入された学修支援システム「Active Portal」により、Web上で履修登録ができるようになったことから、専門業者によるシステム説明会と、学部の先輩達との茶話会が行われました。茶話会では、お互い緊張していた様子の新入生でしたが、徐々に話も盛り上がり、お菓子を食べ、ジュースを飲みとてリラックスした雰囲気となりました。お互いにこれからの大学生活について質問したり、経験談を聞いたりして和やかな時間となりました。残念ながら、当初予定していたバーベキューは、天候により室内での立食会に変更となりましたが、新入生の皆さんにとって、翌週からの本格的な授業の前に、楽しいひと時を過ごしていただくことができました。



キャリア支援体制のご紹介

本学では、高い就職決定率を強みにしています。今回はその一部をご紹介します。

ビジネスマナー講習会【7月22日(火) 3年4年生対象】

講師：株式会社C-planから清水裕美先生

「医療人の接遇」をテーマとし、患者さんとの対応や言葉の使い方、また、面接時の対応や服装などの講習があり、参加学生からのアンケート結果で、「受講して大変良かった」などの意見をたくさんいただき好評でした。

卒業生講演会【7月18日(金) 看護学部3年4年生対象】

講師：仲北 萌さん(京都市立病院看護師)平成24年度卒業生
土橋了輔さん(清仁会シミズ病院看護師)平成24年度卒業生

国家試験の勉強を始めた時期や、勉強方法、現在勤務している病院を選んだ理由、職場の勤務内容などスライドを使用してわかりやすく説明があり、学生達も今後の就職活動のために真剣に聞いていました。

卒業生講演会【8月1日(金) 鍼灸学部・保健医療学部3年4年生対象】

講師：山口晋平先生(平川接骨院 院長)平成22年度卒業生

「これから就活をするために知っておきたいこと」について講演があり、就活に失敗しないためには、「とにかく見学をたくさんすること」とあり、治療院を見学するための6つのポイント、治療院に対しての3つの質問など、的確なアドバイスがあり、参加学生からのアンケート調査も非常に好評でした。



■就職決定率(5月1日現在)

鍼灸学部 ————— 100%
保健医療学部 ————— 100%
看護学部 ————— 100%

■国家試験合格率

鍼灸学部 — はり師83.3% きゅう師87.5%
保健医療学部 — 柔道整復師86.2%
看護学部 ————— 看護師96.8%

課外活動 Pickup

バレーボール部大躍進!

バレーボール部 顧問：池内 部長：日野

バレーボール部が活動を再開して4年目を迎えました。再開当時、部員は男女合わせて4人でしたが、学内で声をかけ回ったことにより、初心者を含めて10人が集まり、何とか試合に出たことを覚えています。翌年、男子チームを関西学連に登録して、8部リーグから始動、7部6部5部を優勝し、翌年秋大会には4部に昇格しました。男子は、ガチでバレーと向き合い、学連リーグ中心に試合をする「ガチチーム」または、楽しんでバレーに取り組み、社会人リーグ中心に大会出場する「楽(ガク)チーム」を学生さん自らが選び所属することにより、目標や部活に携わる意義を考え、それぞれのペースで取り組んでいます。一方、女子は社会人の試合に出場しており、2年連続で京都バレーボールクラブ連盟より推薦をいただき、「天皇杯・皇后杯京都府予選会」に出場しました。このような男女チームの活躍の結果、年々部員数は増え、現在は総勢28名となりました。このように廃部の危機を乗り越えた現在のバレー部は、男女が共に練習し、試合には互いに応援する仲の良い部活となり、今後更なる結果を残していけるよう日々練習しております。



クラス懇談会でクラス団結力UP!



毎年、全学部全学年において、クラス懇談会を実施しています。費用は大学が定額負担し、企画は食事会や茶話会、BBQなど様々で、学生達がクラスアドバイザーと相談して進めます。看護学部4年生は、7月中旬に約1年間の病院実習が終わり、これから国家試験合格に向け一致団結して受験勉強に臨むため、ピザ・ケーキ・お菓子・ジュースなどを用意して、楽しいひと時を過ごしました。また、全員合格を祈念し、ボールペンと鉢巻が配布されました。【看護学部4年生 7月18日(金)】

ここでも学生が活躍! 高校生をもてなし明治の魅力を語る



オープンキャンパスは、模擬講義や体験実技、施設見学等を通じ「本学での学び」を参加者にご理解いただくと同時に、本学の学生たちに触れていただきキャンパスライフの雰囲気を肌で感じていただく最良の機会です。だから、本学のオープンキャンパスは学生主導。学生たちが主体的に動き、司会進行から運営まで全般に携わり、本学の魅力を語り、参加者をもてなします。今年の学生スタッフたちが決めたイメージカラーは黄色。夏色のポロシャツがオープンキャンパスに彩りと活気を与えてくれます。ホームページのオープンキャンパスレポートでは、学生スタッフの一言コメントを掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

第63回全日本鍼灸学会学術大会でポスター発表! 優秀賞を受賞

テーマ:
「中医弁証学に
ゲームキャラクター
を応用した学習法」

鍼灸学部4年生
上林 紗也果さん



鍼灸学部生が東洋医学を学ぶとき、つまずきやすいのが中医弁証学です。その中医弁証学をもっと楽しく、わかりやすく学習できないかと検討した結果、ゲームキャラクターのイメージを利用した学習法を考えました。3年生のときに開始したものの、ほかの発表者は先輩だらけで勝手もわからず、かなり焦りました。右往左往している私を助けてくださった指導教員には多大な感謝をしてもしきれません。また、今後教育に関わりたいと思うきっかけにもなった発表となりました。

大学生活インタビュー

Q1.大学生活はどう?

自由気ままに楽しくやっています。今年は、3年生の時に先生と行っていた研究を学会で発表して、学生ポスター発表の部で優秀賞を取ることができ、とても嬉しかったです。あと、今年は卒業して同級生と離れてしまうので、色々な所にみんなと出かけたいです。



奈良県出身 上林 紗也果さん

Q2.好きな科目は?

医療社会学や産業医学概論のような、鍼灸医学を別の視点から考えるような科目が楽しいです。

Q3.今後の抱負

本学の大学院生になりたいと考えています。もともと、研究がしくて大学に入ったので、その夢を実現できるよう、頑張りたいです。

Q4.最後に一言

今のスマホがAndroidなので、早くiPhoneに変えたいです。

4年生

【アドバイザー】
江川雅人

Q1.大学生活はどう?

僕は香川県から出てきたのですが、大学には、色々な地域の出身の人がいて、みんな、それぞれ地元のいいスポットを教えてくれるので、話すのがとても楽しいです。



香川県出身 今田 賢太郎くん

Q2.好きな科目は?

東洋医学系が好きです。表情や脈を見て相手の体調などがわかるので、そこがとても面白いです。逆に、解剖は覚えることが多くて、苦労しています…。

Q3.今後の抱負

友達の出身地に行って、一緒に遊びたいです。九州から順ぐりに回っていききたい。勉強は、とりえず苦手科目の単位をとりたいたいです!

Q4.最後に一言

一人前の鍼灸師になって、地元に戻りたいです。

1年生

【アドバイザー】
角谷英治・廣 正基
岡田 薫・吉田行宏
山崎 翼

Q1.大学生活はどう?

3年目にして要領をつかんできて、今はとても楽しく充実しています。今年は初めて祇園祭で鉦巡行を見ました。人酔いするほどのにぎわいで、修学旅行で抱いていた京都の印象が、ガラリと変わりました。これまで行ったことのない場所にも、今年はいろいろと行って、楽しい生活を送っています。

3年生

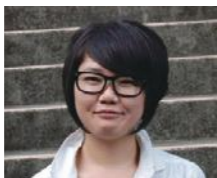
【アドバイザー】
今井賢治・福田文彦
伊藤和憲・日野こころ
新原寿志

Q2.好きな科目は?

東洋医学概論はとても面白いですが、経絡経穴は難しいです…。

Q3.今後の抱負

国試ももちろんですが、主将を務める合気道部や、学スタなどの活動も頑張っていきたいです。今年の夏は蛍も見れたので、今度は、着物をきておいしい物を食べに行きたいです。



茨城県出身 石山 奈見さん

Q4.最後に一言

あと1年半の学生生活を、全力で楽しんで行きたいです。

Q1.大学生活はどう?

実家から、2時間くらいかけて通っています。大学の周りは自然が多く、陸上で長距離を走っている僕にとっては、自然の中で走ることができるので、とても楽しいです。最近は、友達と大学近くのパン屋まで歩いて行ったりして、この大学ならではの環境を楽しんでいます。

Q2.好きな科目は?

解剖、生理学、経絡経穴です。この経穴の下にはこんな筋肉や神経があるのかな、とか3つの科目を関連付けて勉強するのが楽しいです。

Q3.今後の抱負

今年、飛騨高山の100kmマラソンに参加し、1400人中、9位になることができました。来年も、色々なマラソンに出たいと思います。

Q4.最後に一言

大学は、国試のための勉強だけでなく、技術や鍼灸の歴史などについても学ぶことができるので、がんばっていきたくたいです。



大阪府出身 日野 一輝くん

1年生のアドバイザー紹介



学年アドバイザー 角谷 英治(左下枠内)
少林寺拳法部顧問、愛知県出身。今年の1年生は、みんな仲が良くまとまって良い雰囲気です。保護者の方々とも両輪になって、優しくも時には厳しい指導で、将来の鍼灸界を背負う人材に成長してもらいたいと思っています。

廣 正基(左から2番目)
1年生では鍼灸コミュニケーション入門、経絡経穴学を担当しています。皆さん、とても良い雰囲気です。医療人として成長できるようサポート頑張ります。

岡田 薫(右端)
1年生の後期から始まる、生理学という科目を担当しています。生理学は、ヒトの体のし

くみを理解する分野で、解剖学と並んで医療系科目の基礎となります。皆で頑張ってくださいませ。

吉田 行宏(左端)
スポーツ鍼灸が専門で1年生に1番近い若手教員の吉田です。大学で鍼灸について学ぶのは当然ですが、社会人として恥ずかしくない人間に育ってもらうためにも、時に厳しく時に優しく一緒に成長していきたいと思っています。

山崎 翼(右から2番目)
茨城県出身、アドバイザーの山崎です。1年生の科目では、経絡経穴学などを担当しています。講義では、難しい漢字や聞きなれない言葉がたくさん出てきますが、楽しんで勉強できるように、サポートしていきたいと思っています。

柔道整復師国家試験合格への道

国家試験に対して“これでもか”というほど充実したサポート体制

～学生と教員が二人三脚で合格をめざす「チューター制度」の導入～

柔道整復師の国家試験は、平成17年以降、200問の一般問題に30問の必修問題が追加され、それ以前よりも難易度が上昇しています。このような国家試験に対しても合格できる学生を育成するため、本学保健医療学部では、チューター制度(少数指導制度)を導入しています。チューター制度とは、一般にチュートリアル(tutorial=個人指導の、家庭教師の)を取り入れた教育制度を意味します。学生個々の能力や特性にフレキシブルな対応ができるよう、数名の学生グループに対し1名の教員をチューターとして配し、4年生全員が国家試験に合格できることを目指して徹底したサポートを行っています。



国家試験の模擬試験などを数多く実施しています。さらに学力・成績に不安がある学生については一定期間課題を行ってもらいます。

学生の理解度・達成度を定期的に、教員が口頭試問でチェックします。

学ぶ喜びを知る→成績が上がる→さらにモチベーションが上がる 良・循・環!!



保健医療学部4年生 濱口 栞枝さん

わからないところについて個別に指導してもらえたり、各学生に合った課題を提案してもらえるので、すごく助かっています。成績が上がってくると、それにともなって、さらにモチベーションも上がります。(*^_^*)

チューターの^{じゅっぱひつから}中川達雄先生からのコメント

学生全員に対して、十把一絡げに同じ課題を与えたり指導を行ってもなかなか結果が出ません。本学保健医療学部では、教員1人が数名のみの学生を面倒見る少数指導教育によって、学生が的確に苦手な部分を克服できる手助けを行っています。いっしょに頑張るって無事に国家試験をクリアしましょう!



「教育の基礎」教育的マインドとその技術

看護学部では平成24年度入学生から初年次教育として、1年前期に「導入ゼミ」15時間と「教育の基礎」15時間の必修科目講義を開講し3年目を迎えます。学生は、「大学で学ぶ基本的な9つのスタディー・スキル」を身につけ、「教育の基礎」で看護に求められる教育的マインドとその技術について学び「生徒から学生へ」と成長しています（『大学だよりVol.5 2012 summer』『導入ゼミ』大学生としての学びのステップ参照）。

教材「Newベッドサイドを科学する-看護に生かす物理学-」（平田雅子著、Gakken）4コマのPBL（project/problem based learning）授業で、今年度は「パソコンによるライティング・スキル」の課題にチャレンジしました。テーマは、「1身体/身体ケアに関する物理学」の12項目から導入ゼミグループがそれぞれ選択、最終日に2つに分かれ発表会を行いました「グループまとめ発表会（表1）」。学生間（ピア）評価を行った結果を紹介します。第1位と第2位の発表の様子と発表内容、評価得点（5点満点（平均値±偏差値））です。

■表1 グループまとめ発表会

Group	Theme	場所
1G √ANS of F THE Wall	看護における作用・反作用	前方
2G カルピス	単位の話「看護教員数名に聞きました-看護の現場で必要とされる「単位」教えてください-」	
5G ごはん	動作に必要な力の加減 移動動作と力の加減	
6G パナナミルク	日常生活と重心の関係	
3G チーム弥生	温度に対する人間の感覚は？人肌程度の曖昧さ	
4G チームKOH	看護師の負担を減らすボディメカニクス	後方
12G ちんげんさいず	シートベルトの効果	
9G にくきゅう(肉9)	体位変換における「トルク」の原理	
8G 授業chu	体熱の産生と喪失のバランス	
10G Lipton	体位変換と摩擦力	
7G アボガド	なぜ水は冷電法にも温電法にも役立つだろうか	
11G リナリア	「力のつりあい」を応用する:左右の釣り合い	

第1位 2G(赤松・桑原・田中久・豊田・福本・森・和田) 4.5±0.7



看護師に“最低限”必要な単位

1g = 1000mg
1mg = 1/1000g
1mg = 1000 μg
1 μg = 1/1000mg

看護師には多くの単位が必要！

例題：ラベルに250mg/5mlと表示されている注射液を200mgと薬するには、何ml取り出せば良いか？

1アンブルに250mgの薬物が5mlの液体に溶け込んでいる

1mlあたり50mg

200mg ÷ 50mg/ml = 4ml

よって、投与する薬量は4ml

第2位 7G(内海・小山・辻田・波多野・藪下) 4.3±0.8

水

冷電法・温電法について

水とはどのような物質か？

人体の水

年齢別水分含有率

新生児 80%
乳児 75%
成人 60%
高齢者 50%



その他のグループの発表の様子



「学修支援センター」を開設

大学には様々な学生の方がおられます。専攻のあるコースを卒業されたため特定の授業を受けていない方、国外の高校を卒業された方も在籍されています。そのような方々を含め、全ての学生の皆さんに学修に慣れ親しんでいただくことを目的に「学修支援センター」を開設しました。

大学の学修では、医学の知識の正確な理解と記憶が必要となります。学ぶ知識量も高校と比べて格段に増えます。プロフェッショナルを目指すのですから仕方がない部分もあるのですが、高校を卒業したばかりの学生の方々にとっては、いきなり出現した「大きなハードル」です。さらに高校までの教育内容を前提とした授業が行われるため、高校の時に苦手だった分野はますますハードルが高くなります。苦手意識が先立った場合、1人で勉強しても効果が見られないことがしばしばあります。

この状況を改善するため、今年4月に学修支援センターをオープンしました。大学のほぼ中央にあるガラス張り開放的なスペースを学修支援センターとして整備し、約40名の学生が自学自習できる環境としました。効果的な自学自習ができるよう、PCとプリンタ、主要教科の教科書や参考書を備え付けました。学生の皆さんは自由にプリントを印刷し、教科書や参考書を片手に勉強することができます。午後5時から午後8時までは教員が常駐し、いつでも質問することもできます。

実際に学修支援センターを活用している学生さんにインタビューしたところ、「学生同士で、相談したり教え合ったりしながら学修できるので、1人でするよりも勉強しやすい」、「1人で勉強すると『分からないところ』が残るけれど、ここはすぐに質問できるので勉強がはかどる」、「ホワイトボードを使って分からないところを共有したり、暗記競争をしたり刺激し合えるのが良い」といった声が聞かれました。ホワイトボードにはしっかりとした書き込みがあり、能動的に学修している様子うかがえます。鍼灸学部の学生さん達が経穴（ツボ）の暗記をするために記載したようです。

夏休み期間中には、廣瀬先生、鳴瀬先生、林先生の集中スキルアップが開催されます。解剖学、生化学、生理学等の学修に自信が持てない学生の皆様の参加をお待ちしております。



なるほど...
わかった!

DNA

アデニン
グアニン
シトシン
チミン

理解するまで
徹底サポート
学修支援センター

http://www.gju.ac.jp/hokoku/2004/06/20.html